

(様式1・小学校用①)

令和元年度 学 校 評 価 報 告

草加市立栄小学校

(令和2年2月10日作成)

1 学校教育目標	
よく考える子〔知〕 思いやりのある子〔徳・情〕 ねばり強い子〔意〕 体をきたえる子〔体〕 －児童一人一人を大切に、さわやかで活気と笑顔のあふれる栄小学校－ 【キャッチフレーズ】「 さ わやか か つき え がお の さかえ」	
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
1 学級・学年経営の充実 2 学習指導の充実 3 豊かな心を育む指導の充実 4 健康な体づくりの推進 5 生徒指導の充実 6 開かれた学校づくりの推進 7 特別支援教育の推進	成果 ○幼保小中一貫教育についての研究を進め、研究発表会でその成果を発表することができた。 課題 ●主体的対話的で深い学びの視点とした授業改善を推進する。

4 評価表 ※評価基準〔A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である〕				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	A	○経営目標や方針を踏まえ、組織の再編を行った。各主任を中心に業務を分担することができた。 ○適正な予算管理・整理ができています。 ○職員会議の効率的な運営が行われた。 ●目標達成のための組織・取組を再検討・実施する。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	B	○外国語活動・外国語科の研修を進め、児童が積極的にコミュニケーションを図る授業展開について研修を実施した。 ○「栄小スタンダード」による授業研修会を実施し共通理解をすることができた。 ●校外研修等に積極的に参加し、一層の授業改善を図り、人材育成を図る必要がある。
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○定期的な防犯ブザーの点検、声出し訓練の実施、安全点検、保健指導の充実を図ることができた。 ○学校保健委員会での児童発表や学校医等との協議などを通し、啓発活動を進めることができた。 ○定期・臨時の保健だよりの発行をとおり、啓発活動に努めた。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	A	○研修を通じ、個人情報の管理、情報漏洩の防止などへの意識を高めることができた。 ○施設設備の適正な管理が図れた。 ○開放団体・施設使用団体と連携し、施設の有効活用に努めた。 ●保護者と個人情報の取り扱いについて確認を行う。
	⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会、 学校評議員制度の活用 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	B	○「学校だより」「校長室の窓から」等を通じて、教育活動等を保護者・地域へ積極的に発信した。 ○授業参観・学校公開に多くの保護者・地域の方においていただくことができた。 ○学校評議員会で学校の経営方針・評価に御理解をいただいた。
	⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じた教育課程の編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○昨年度の発表組織を活用し、日程・取組を検討しながら、無理のない内容で実施することができた。 ○授業研究会の参観をとおり、教育活動へ理解が進んだ。 ○周囲の幼保園との一層の交流活動を推進した。 ●各学年での交流内容を見直し、効果的に実施する。 ●目指す子ども像を確認し、効果的な取組を検討・実施する。

(様式1・小学校用②)

草加市立栄小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	・15年間を通じた教育課程の編成、実施 ・教育計画の作成 ・教育活動の評価 ・目標、方針の周知 ・授業時数の配当、確保	A	○教育目標の達成率（保護者評価）が各項目とも前年度を上回ることができた。 ○授業時数を十分に確保することができた。 ○教育目標にそった教育活動を実施し、その内容を周知した。 ●すべての教育目標具現化に向けた取組の一層の推進を図る。
	②教科指導	・指導計画の立案 ・主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善 ・評価、評定の工夫 ・外部人材の活用	B	○外国語活動・外国語の研修を通じ、対話を通じ、積極的に学びに向かう児童が増えた。 ○地域の高齢者団体・企業・大学とも連携し外部人材を積極的に活用し、主体的な学びへつなげることができた。 ●深い学びの実現に向けた授業づくりを進める。
	③道徳教育	・全体計画の作成 ・各教科との関連 ・道徳的実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・いのちの教育の推進	B	○全クラスで振り返りシートの作成と活用を行った。 ○道徳コーナーを設置し、道徳の意識付けを行った。 ○外部講師を迎え効果的ないのちの教育が実施できた。 ●考える道徳に向け一層の研修を行う。 ●教科・行事と関連させながらより実践力を育む。
	④外国語活動	・指導計画の立案 ・指導方法の工夫と改善 ・評価、評定の工夫 ・各教科、道徳教育との関連 ・中学校との連携	A	○ALTの積極的な活用を図り、指導方法の工夫と改善を図る研修を実施し、児童が積極的にコミュニケーションをとり活発に授業に参加することが増え、他教科にもよい効果が生まれた。 ○低学年児童についてもSEタイムを効果的に実施した。
	⑤特別活動	・指導計画の立案 ・学級活動、学級経営 ・学校行事 ・児童会活動	B	○年間計画をもとに、学年で共通理解を図りながら、学級活動を行った。 ○目標を明確に学校行事を実施し、効果をあげることができた。 ●学級会活動・児童集会など、児童が中心となった活動を推進する必要がある。
	⑥「総合的な学習の時間」の指導	・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 ・地域の人材・物的資源の活用	B	○年間計画にもとに、学年で内容の検討を進めながら、協力して学習活動を実施することができた。 ○体験的な活動や外部講師の活用を積極的に行った。 ●ねらいをもとに学習内容の検討を進める。
	⑦生徒指導	・組織的な生徒指導 ・問題行動への対処 ・教育相談、児童理解 ・いじめ防止対策 ・保護者、地域、諸機関との連携	B	○生徒指導委員会・教育相談部会で情報共有が図られ、組織的な対応を早期に図ることができた。 ○不登校の解消に向けた組織的な取組が実施された。 ○ハートの日の取組の検証・改善を実施した。 ●全職員が共通理解のもとに行動する。
	⑧キャリア教育	・計画の立案 ・指導内容の充実 ・中学校との連携 ・啓発的経験の充実 ・家庭、地域との連携強化	B	○栄平成塾・地域との交流を生かし、豊かな人間関係の育成を図ることができた。 ○中学校・外部講師の活用など積極的に実施した。 ●教職員の意識を高め、教育活動に位置付けるとともに、保護者への啓発活動を実施する。
	⑨特別支援教育	・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備	B	○通常学級児童についても、指導・支援の共通理解を実施した。 ○教職員の共通理解をもとに校内支援組織を中心に指導方法の工夫と改善を行った。 ○積極的に諸機関と連携し特別支援教育の充実・推進を図った。 ●研修を充実させ、理解を深めていく。
	⑩学校図書館教育	・指導計画、支援計画の作成 ・図書館補助員の活用 ・諸機関との連携 ・図書館の整備 ・図書館利用の工夫	B	○司書教諭、学校司書が連携して図書の紹介や掲示を行うなど図書館の整備をすすめ、安らぎのある空間づくりを行った。 ○「この本読もう栄っ子」の取組が低学年児童に浸透し、多くの児童が目標を達成することができた。

⑪情報教育	・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ＩＣＴ機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進	B	○デジタル教科書など、ＩＣＴ機器の活用を積極的に進めることができた。 ●組織の見直しを行い、情報モラル教育・プログラミング教育への対応を進める。
⑫人権教育	・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実	B	○人権標語・作文等の取組を通して人権について考える機会を持つことができた。 ○各教科の関連を図りながら人権教育を進めた。 ○校内研修を実施し、人権意識の高揚を図った。 ●学校全体で人権感覚の育成に取り組む。

(様式１・小学校用③)

草加市立栄小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	①特色ある学校づくり	・地域の人材活用 ・体験活動の推進	A	○地域の人材、栄平成塾、学生ボランティアによる教育支援が定着し、ゲストティーチャーによる積極的な体験活動が行われている。 ○獨協大学の協力いただき、SEタイムで低学年児童にも外国語活動を体験させることができた。 ●地域人材活用・体験活動の一層の充実に努める。
	②学力、体力の向上	・栄っ子の基礎基本 ・学力向上のための指導法の工夫 ・体育の授業の充実	B	○授業改善・外国語活動・外国語研修・算数プリントなどの取組で学力について良好な結果を得ることができた。 また、学力の伸びも大きくなった。 ●体育授業を中心に体力課題克服に向けた取組を実施する。
	③一人一人を大切に、信頼関係に立った生徒指導の充実	・共通理解・共通行動で組織対応する生徒指導 ・一人一人によりよい信頼関係に立った生徒指導	B	○生徒指導委員会、教育相談部会を中心に学校全体で生徒指導課題への対応を協議し、役割の分担や協力して指導にあたるよう組織的に行動した。 ●基本的な生活習慣の確立について校内での取組を進めるだけでなく、家庭と連携して改善を図る。

5 総合評価（学校関係者評価を含む）

- ・保護者評価では、学校教育目標に関わる内容で前年より数値が向上した。また、学校の取組に関してすべての項目で95%を超える肯定的な評価をいただいた。
- ・幼保園、中学校との一貫教育の推進、大学との連携を通じ、地域の教育コミュニティづくりを進めることができた。
- ・学力・学習状況調査（国・県・市）の結果から各学年の学力の平均値、学力の伸びについて良好な状況にある。
個々の課題に対しての取組を行うことで、一層の向上を図る。
- ・読書や体力の課題については改善できなかった点について検証を行い、対応する取組を行うほか、家庭の協力もいただきながら、習慣化を図る。
- ・学校評議員の皆様からは、児童の指導やいじめへの対応についての保護者評価が向上したことを評価いただいた。また、学校の業務改善・負担軽減などに取り組むことにも御意見をいただいた。学習指導要領全面実施への準備を遅滞なく実施するとともに、業務全般の見直しを図る。

6 次年度の改善策

- ・外国語活動・外国語科の授業を充実させることで、児童のコミュニケーション力を高め、各教科における主体的、対話的で深い学びを意識した授業づくりを目指す。
- ・教職員による生徒指導・教育相談・安全指導等の組織的な対応（チーム栄）を進めるとともに、学校、家庭、地域が連携して教育を実践していく。
- ・学習指導要領の全面実施を確実に行うとともに、学校行事全般にわたる検討を行い、課題を解決するために組織的な学校運営を行う。
- ・「運動」「読書」の課題を解決するための取組を一層進める。
- ・業務全体にメリハリをつけ、スクラップ＆ビルドの観点で業務改善を目指す。
- ・幼保小中一貫教育の継続的な取組を実施する。
- ・地域・外部機関と一層連携し、体験的、問題解決的な学習をより充実にさせ、魅力ある学校づくりを進める。
- ・学校運営協議会の活用により、地域・家庭とともにある学校経営・運営を目指す。